

第2回ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 大西 浩明

- ◇実施日時 2023年6月6日(火) 19時～21時
◇方法 ZOOMによるオンライン開催
◇参加者数 36名
◇内容 SDGsの基礎的理解②
「SDGsの達成に資する教育 ESD for 2030の国内外の動向」 及川幸彦准教授

1. ESDとSDGsの策定経緯

- 1992 リオデジャネイロ地球サミット「アジェンダ21」 ESD
2000 国連ミレニアム・サミット MDGs
2002 ヨハネスブルグ・サミット 日本がESDを提案
2005 DESD 国際実施計画を策定 DESD
2009 ESD世界会議 ボン宣言の採択
2014 ESDに関するユネスコ世界会議(名古屋・岡山) GAP
2015 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の採択 SDGs
2019 「ESD: Towards achieving the SDGs」の採択 ESD for 2030

SDGsの達成に向けた教育

目標4: すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
教育を通じて、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする



- ・ ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17すべての目標の達成に貢献するもの
- ・ ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっている
- ・ SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできる

ESD for 2030 ロードマップと実施施策

- ①SDGsの17のすべての目標実現に向けた教育の役割を強調
- ②持続可能な開発に向けた大きな変革への重点化
- ③ユネスコ加盟国によるリーダーシップへの重点化

実施のためのメカニズム

国レベルでの ESD for 2030 の実施（国内イニシアチブの設定）

パートナーシップとコラボレーション

行動を促すための普及活動

新たな課題や傾向の追跡

資源の活用

進捗モニタリング

2. ESD ユネスコ世界会議とベルリン宣言

「2030 年に向けて、SDGs のすべての目標達成のカギは ESD

ベルリン宣言（我々の約束）のポイント

- ①気候変動を基軸とした相互関連的な ESD
- ②教育の各段階・各分野における包括的な ESD
- ③科学知識や新技術へのアクセスした ESD
- ④緊急的かつ喫緊の課題に対応した ESD
- ⑤ESD 推進の体制づくりとネットワーク構築

日本からの発信（成果：3つの強み）

- ①ESD を学習指導要領（ナショナル・カリキュラム）に組み入れた 組織的・計画的な ESD を推進
- ②政府に「ESD 関係省庁連絡会議」や「ESD 円卓会議」を設置し、オールジャパンで ESD を推進
- ③各地域における課題解決と地域創生を目指して、地域に根差し、地域の文脈に即した ESD を推進
（主な施策）
 - ・国の ESD 推進のイニシアチブを強化するため、新国内実施計画を策定
 - ・学校教育での ESD のより一層の推進を図るため、「ESD 推進の手引」を改訂
 - ・東日本大震災の教訓や気候変動による災害の多発化・甚大化を踏まえ、防災・減災への ESD の貢献を発信

第2期 ESD 国内実施計画

- ①ESD を実践するために多様なステークホルダーを巻き込む
- ②ステークホルダーごとの具体的な取組を5つの優先行動分野に記載
 - ・ ESD の政策への取り込み
 - ・機関包括型アプローチの実施
 - ・ ESD を実践する教育者の育成
 - ・持続可能な開発のための変革を進める若者の参加の支援
 - ・ ESD を通じた持続可能な地域づくりの促進

「ESD 推進の手引」（令和3年5月改訂）

- ・ ESD 実践のためのカリキュラム・デザインや学校内外での連携方法の促進について内容を充実
- ・ 具体的な取組事例の記載を充実

教育を変革するために

カリキュラム・デザインとマネジメント
システム構築（校内・地域）
ガバナンスとリーダーシップ

SDGs の今後の展開（外務省の議論を踏まえて）

- ①持続不可能な諸課題は、海外だけでなく国内や地域にも存在することを意識する。
- ②それらの課題は、SDGs と一対一対応ではなく、相互に関連していることを地域の課題に即して認識する。
- ③それらの諸課題を理解するだけの学習ではなく、その課題解決に向けて地域から世界への行動を促す。
- ④学校教育や社会教育、企業、市民レベルでの人材育成を通して、生涯にわたって実践意欲を喚起・持続する。

ユネスコの最新の動向

「UNESCO Greening Education Partnership」 気候変動に関する教育

日本のユネスコスクールで気候変動に関する教育を行っているのは、約 20%

環境教育を行っているのは 80%なのに・・・

ESD for SDGs 推進の 5 つの視点

- ①SDGs の目標とこれまでの地域や学校の取組を関連づけ整理する
- ②SDGs の視点で、身近な取組の国際的な課題への貢献を評価する
- ③各目標が相互に関連していることを地域課題から整理・意識する
- ④SDGs を国や地域の課題に即して、焦点化し優先的に取り組む
- ⑤SDGs の達成には、教育（人づくり）が重要であることを再認識する



「自己実現」の教育から、「共に生き、共に創る」教育へ

ESD : Towards achieving the SDGs = ESD for 2030